

令和6年度 荒川中学校の教育全体構想【グランドデザイン】

教育目標

めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう

目指す学校像

- ・学ぶ、つながる、挑戦する楽しさや喜び、心や体の成長が実感できる学校
- ・保護者や地域から信頼、応援され、地域とともに歩む学校
- ・教師が情熱と使命感をもち、やりがいを感じて教育活動を進める学校
- ・教育環境が整い、安全・安心に生活できる学校

目指す生徒像

- ・学習のねらいが分かり、課題にねばり強く取り組み、ねらいに対する振り返りができる生徒
- ・「あいさつ、返事、がまん、時間、後始末」ができる生徒
- ・他を思いやり、いじめを許さない、見逃さない生徒
- ・健康で安全に生活し、体力の向上に努める生徒
- ・ふるさと荒川を理解し、地域の課題を発見してともに追究する生徒

◆ 生徒・保護者・地域・職員の願い

◆ 学習指導要領 ◆ 県学校教育の重点 ◆ 村上市教育基本計画

地域・関係機関等との連携

- 1 地域の関係機関と連携を図ったり教育資源を活用したりして、地域に根ざした教育を推進する。
- 2 地域スポーツクラブと連携し、部活動の地域移行を計画的に進める。
- 3 小中や中高の円滑な接続を図る小・中・高の教科、領域の指導や生徒指導のあり方等について、意見交換や引き継ぎを丁寧に行う。
- 4 学校運営協議会等で、持続可能な学校経営・地域連携について熟議を行う。
- 5 地域とともに歩む学校づくりを図る外部評価等の内容や方法を工夫する。

努力事項

知の分野

【 取 組 】

- ① 学習課題、対話、まとめ、振り返りがある授業を行う。
- ② 思考、解決、表現の過程で「深い学びの技法」を取り入れた授業を、単元の中に位置づけて行う。
- ③ 終学活にプランニングタイムを設定し、家庭学習計画の指導や学習相談等で、家庭学習の習慣化を図る。
- ④ 「分かる」「できる」が実感できる問いや学習課題がある授業を行う。

【 評 価 】

- ① 生徒アンケートで、授業の学習課題が「分かる」「できる」と答える生徒を85%以上にする。
- ② 生徒アンケートで、「話し合うことで自分の考えがより確かになったり、新しい学びや気づきがあったりした」と答える生徒を80%以上にする。

徳の分野

【 取 組 】

- ① 生徒の絆づくりの場面(主体的・共同的な活動を通して、生徒自らが「絆」を感じ取り、心を通わせる場面)を設定する。
- ② 学級活動・生徒会活動・学校行事で、互いの努力や成長を賞賛し合う場面を設定する。
- ③ いじめに関する道徳教育(道徳科、いじめ見逃しゼロの取組等)は、「考え、議論する」積極的な取組を行う。
- ④ 心の居場所(生徒が安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場所)づくりに努める。

【 評 価 】

- ① 生徒アンケートで、「学校が楽しい、充実している」の肯定的評価を75%以上にする。
- ② 生徒アンケートで、「相手のことを考えた言葉遣いや行動をしている(SNSを含む)」の肯定的評価を85%以上にする。

体の分野

【 取 組 】

- ① 体育の授業や体育的行事において、体力向上に関する知識を理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ② 体育の授業で、サーキットトレーニング等を取り入れて体力作りを行う。
- ③ セルフモニタリングシートを活用し、生活習慣の改善に取り組む。

【 評 価 】

- ① 生徒アンケートで、各学年の体力向上・保持増進に向けた運動を行う生徒を、80%以上にする。
- ② 生活習慣の改善に関する肯定的評価を、75%以上にする

特別支援教育

【 取 組 】

- ① 生徒理解に基づく、足並みをそろえた適切な支援を行う。
- ② 学びのユニバーサルデザイン(UDL)の理解を一層深め、取組を徹底する。
- ③ 保護者・関係機関との連携を積極的に行う。

【 評 価 】

- ① 個別支援計画をもとに、①現状把握②目標設定③実践④評価のサイクルで支援する教職員を100%にする。
- ② UDLの取組を理解し、実践している教職員を100%にする。